

コンパクトブレーカ SH型 商 品 仕 様 書	SH-30
	No. 1
	全 7

1. 商品名 :サーキットブレーカ SH型

2. 型式(保護目的) :SH-30(過負荷・短絡・定格コード保護)

3. 品番・定格

フレーム	品番	極・素子数	定格電圧	定格電流	遮断容量 定格コード ^② 保護電流	消費電力
30AF	BSH 2151	2P1E	AC100V ^③	15A	2500A	1.9W
	BSH 2201			20A		2.5W
	BSH 2301			30A		4.0W
	BSH 2152	2P2E	AC100/200V ^③	15A	2500A	2.8W
	BSH 2202			20A		3.6W
	BSH 2302			30A		4.9W
	BSH 2302C	BSH2302 + 5.5mm ² 棒圧着端子2ヶ、シールド ^② キャップ ^② 2ヶ同梱				

△

4. 適用規格

△・電気用品安全法

△・日本工業規格 JIS C8211 附属書2 (JIS Q1000 に基づく自己適合宣言)

5. 外形寸法(別紙参照)

・製品質量 2P1E: 57g
2P2E: 65g

6. 構造一般

(1) 動作機構

・リセット操作を要しないトリップフリー型の速断トグル機構

(2) 過電流引外し方式

・熱動式(バイメタル使用)
・瞬時引外し装置(クラッパ型電磁石使用)

様		制定日		2000年 4月 1日					
①	2001/04/15 電気用品取締法→電気用品安全法へ変更	部長		課長		検印		作成	
②	2001/06/21 BSH2302C 追加、8mm ² 棒圧着端子追加								
③	2008/04/01 新 JIS 対応のため								
④	2008/10/01 ブランド変更のため	パナソニック株式会社							

⑤ 2010/04/01 適合棒圧着端子変更

⑥ 2012/01/01 社名変更のため

コンパクトブレーカ SH型 商 品 仕 様 書			SH-30
			No. 2
			全 7
(3) 端子構造 ・電源側:プラグイン端子(差し込み型) 適合バーサイズt2mm △・負荷側:速結端子			
接続可能電線		適合棒圧着端子品番	注意事項
		パナソニック製	
Cu(銅)単線	φ 1.6		定格電流30Aは接続不可
	φ 2.0		
	φ 2.6		
Cu(銅)より線	1.25mm ²	BB9924	定格電流20,30Aは接続不可
	2mm ²		定格電流30Aは接続不可
	3.5mm ²	BB9921	
	5.5mm ²		
	8mm ²	BB9923	
(4) 主要部の材料 ・ケース :PBT樹脂 ・ハンドル :PBT樹脂 ・接点 :銀合金 ・端子板 :銅合金			
7. 性能及び特性 (1) 越流性能 ・タングステン電球負荷で定格電流に等しい電流を通電した時、自動的に遮断せず又接点溶着しない。 (2) 過電流引外し特性 ・別紙参照(基準周囲温度 40℃) (3) 開閉性能 ・定格電流の6倍(最小150A)の電流を、手動遮断で35回、自動遮断で15回 計50回 ・電氣的開閉 6000回、機械的開閉 4000回 計10000回			
パナソニック株式会社			

コンパクトブレーカ SH型 商 品 仕 様 書	SH-30
	No. 3
	全 7
(4) 各部の温度上昇 ・電源端子部 60℃以下(プラグイン) ・負荷端子部 35℃以下(速結端子) ・接点部 100℃以下 (5) 各部の絶縁抵抗 ・各端子間、充電部と大地間及びハンドル“O”(切)位置で電源側と負荷側端子間の絶縁抵抗は下記のこと。 - 各端子間 5MΩ 以上 (500V絶縁計) - 充電部と大地間 5MΩ 以上 (500V絶縁計) (6) 各部の耐電圧 ・(5)と同じ間における耐電圧は、2000V 1 分間異常なし (7) 短絡遮断性能 ・定格遮断電流 2500A (8) コード短絡保護性能 ・定格コード保護電流 2500A (9) 耐振動性能 ・振動数16. 7Hz×振動変位加速度19. 6m/s²×複振幅4mm×1時間で遮断器は開放せず、各部に異常を生じない。 (10) 耐衝撃性能 ・衝撃加速度490m/ s²で各部に異常を生じない。 (11) 端子性能 ・プラグイン端子 挿抜回数 5回以下 電圧切替回数 5回以下 ・速結端子 挿抜回数 10回以下 (12) 使用環境条件 ・使用周囲温度 -10℃～60℃ ・使用相対湿度 45%～85% (但し、周囲温度に依る定格電流の低減率は温度補正表によること。)	
パナソニック株式会社	

コンパクトブレーカ SH型

商 品 仕 様 書

SH-30

No. 4

全 7

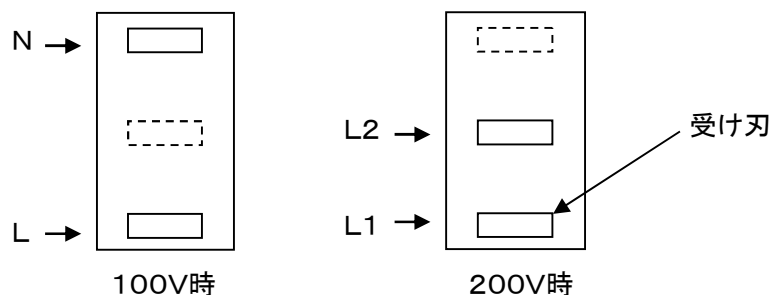
8. 使用注意事項

- ・温度、湿度、粉塵、腐食性ガス、振動、衝撃など異常な周囲環境でのご使用はさけてください。
- ・端子の L 相と N 相を正しく接続して下さい。(AC100V 回路専用機種の場合)
- ・連続負荷を有する分岐回路の場合、ブレーカに通電する負荷電流は定格電流の80%以下としてください。(内線規程)
- ・ブレーカの動作で2次的な影響を受ける負荷には、警報回路を併用して下さい。(内線規程)
- ・周波数制御回路(インバータ機器)には、配線保護用として1次側に設置してください。
- ・絶縁測定はハンドルを切「O」状態にし、電線を接続したまま本体の絶縁測定部で行ってください。

9. 接続方法に関して

(1) プラグイン端子

- ・プラグイン端子の受け刃の位置と電圧を確認し、バーに水平に差し込んでください。
(バーに対し、確実に奥まで差し込んでください。)
- ・2P2Eの場合は使用電圧に合わせ、受け刃の位置を切り替えてください。



(2) 速結端子

・電線の接続方法

- ① 電線の被覆を、本体のストリップゲージに合わせ、15mm むいてください。
(接続できる電線の種類は「6. 構造一般 (3)端子構造」に記載)
- ② 電線挿入口に電線を奥まで差し込んでください。
(1つの挿入口に2本以上の電線を差し込まないでください。)
- ③ オレンジ色の接続完了表示が出ていれば、接続完了です。
オレンジ色の表示が出ていない場合は、接続が不十分です。
発熱・発火の原因となりますので原因を取り除いて、接続し直してください。

オレンジ色の表示が出ない場合の原因例	対策例
電線が奥まで挿入されていない	電線を持って奥に押し込んでください
電線のストリップ長さが短い	電線の被覆を15mmむいてください
電線が変形している	電線の変形している部分をカットしてください
電線のサイズが違う	適正電線に変更してください

パナソニック株式会社

コンパクトブレーカ SH型 商 品 仕 様 書	SH-30	
	No.	5
	全	7
・電線の抜き方 ① 解錠レバーを電線側に押しながら電線を引いてください。 （解錠レバーの押し込み力は約7Nです。） （押し込み荷重が高すぎる[100N以上]と破損に至る場合があります。） ※ 単位系はSI単位(国際単位)系で表現しています。		
パナソニック株式会社		

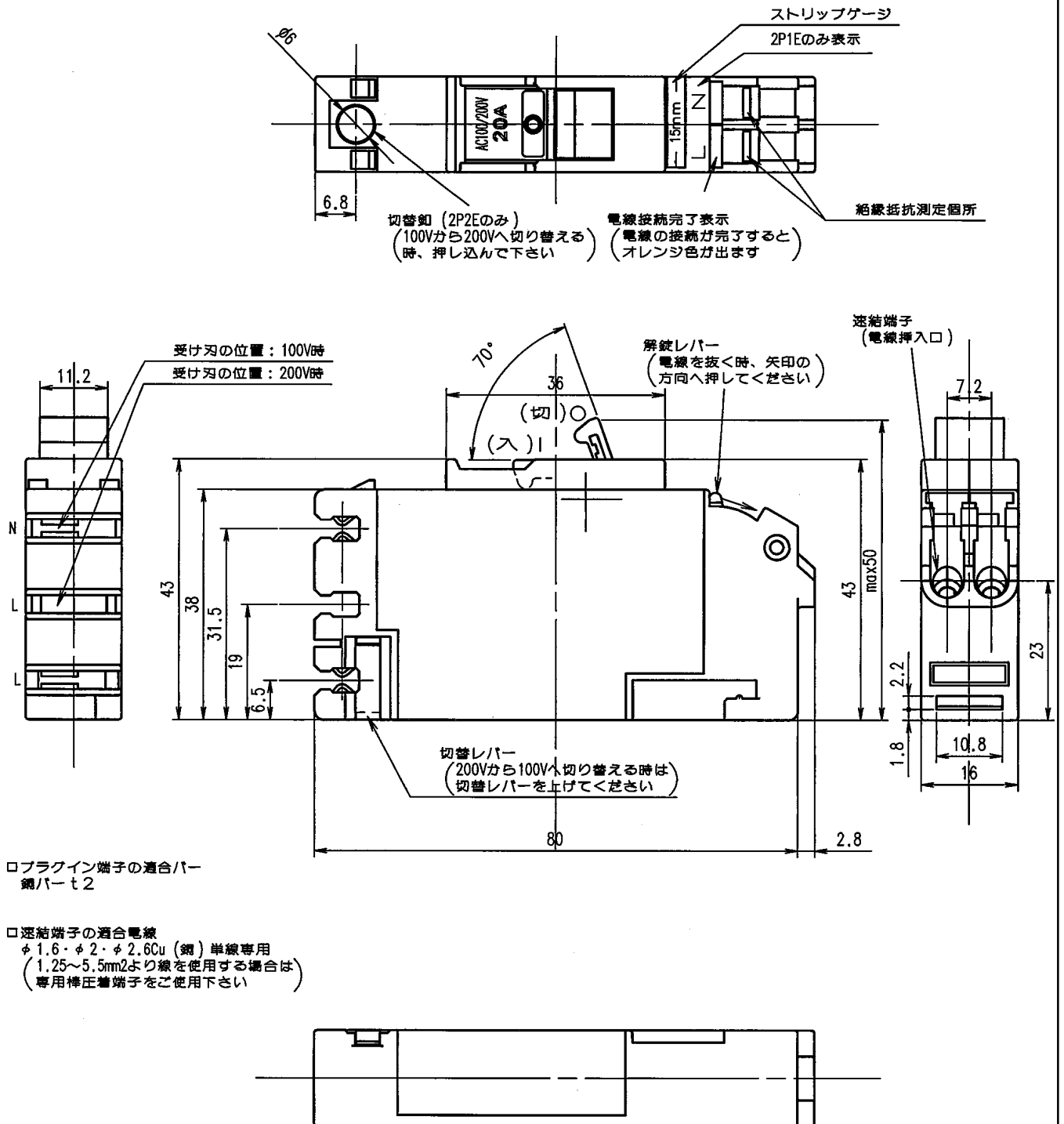
コンパクトブレーカ SH型

商 品 仕 様 書

SH-30

No. 6

全 7



コンパクトブレーカ SH型

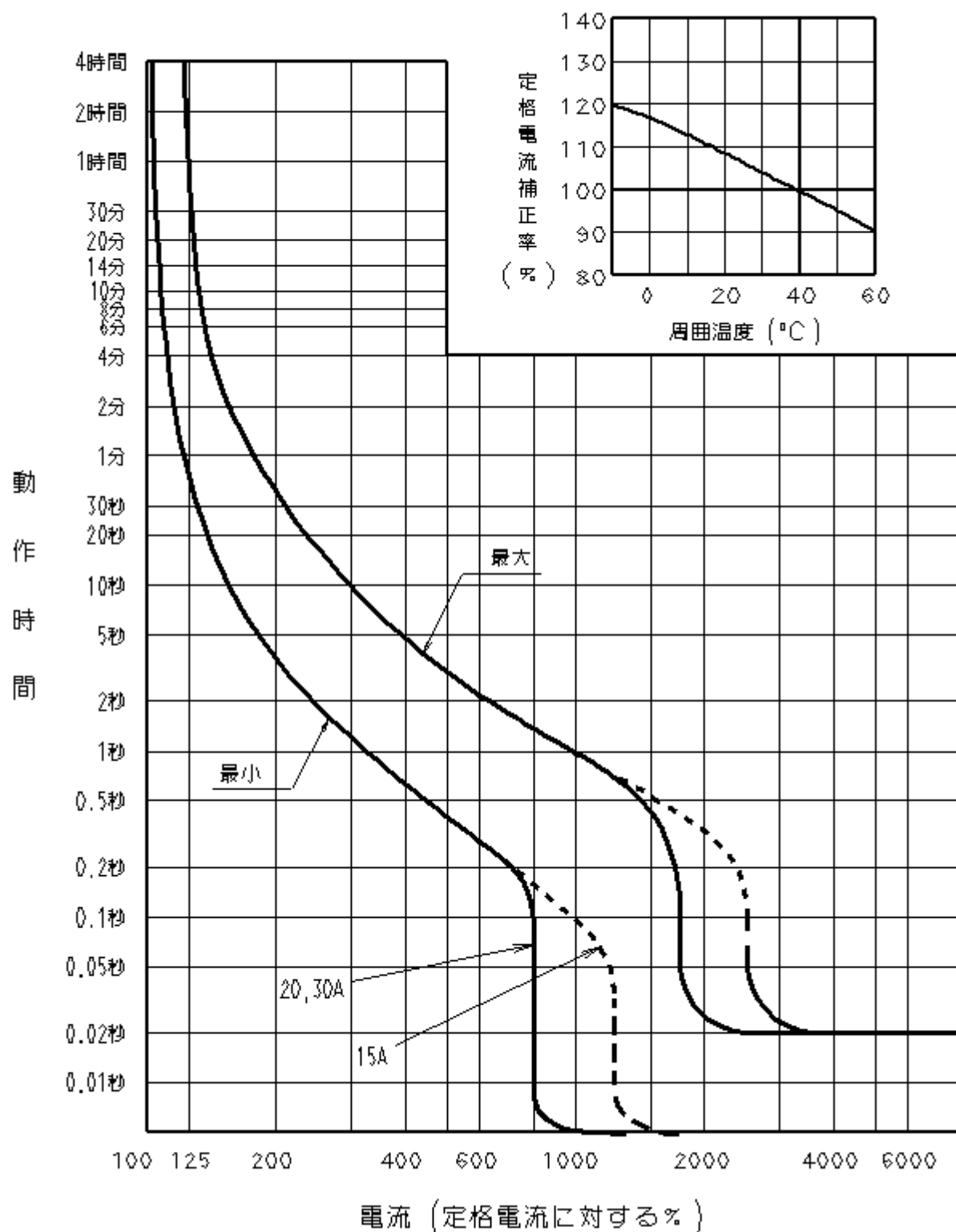
商 品 仕 様 書

SH-30

No. 7

全 7

☐ 動作特性曲線 (基準周囲温度 40 °C)



パナソニック株式会社

商 品 圖 面

全 2

フレーム	品番	極・素子数	定格電圧	定格電流	遮断容量 定格コード保護電流	消費電力
30AF	BSH 2151	2P1E	AC100V	15A	2500A	1.9W
	BSH 2201			20A		2.5W
	BSH 2301			30A		4.0W
	BSH 2152	2P2E	AC100/200V	15A	2500A	2.8W
	BSH 2202			20A		3.6W
	BSH 2302			30A		4.9W
	BSH 2302C	BSH2302 + 5.5mm ² 棒圧着端子2ヶ、シールドキャップ2ヶ同梱				

2008年 4月 1日



パナソニック株式会社

コンパクトブレーカ SH型

商 品 図 面

SH-30

No. 2

全 2

2. 図面

